



本物から感じる！

校長 大谷 京司

■戦争の悲惨さ ～東京大空襲を生き抜いて～

昭和 20 年 3 月 10 日未明、炎に包まれその熱さからなんとか逃れようと冷たいドブ川につかり、家族で必死に生き延びようとしたものの 2 人の妹さんを亡くした出来事を克明に語る辻里子さん。92 歳というお年ながら現役のヨガインストラクターとして週 2 日若い人たちと汗を流す生活をされているという。戦争とは何だったのか。今、平和な日本で暮らす子どもたちに何を大切にしてほしいのか。6 年生の社会科の授業で、教科書だけからでは決してわからない、体験者しか語れない貴重なお話を伺うことができました。



■ライブペイントの衝撃 ～JUN INOUE の世界～

流れてくる音楽に身をゆだね、自分の心と身体を開放して大きなキャンバスに力強く描いていきます。芸術祭で見た子どもたちのすばらしい作品から感じ取ったエネルギーをそのまま表現したとのこと。子どもたちからの質問で作品名を問われ、考えた挙句につけていただいた作品名は「力」。

何よりも今回ライブでパフォーマンスを行っていただいたことで、見る者に大きな感動を与えてくれました。

*井上純さん 日本特有の繊細な精神性をアブストラクトな線で描き、独特な「間」を作品の中に生み出し、モダンなセンスと伝統的なスピリッツが混ざり合うように、絶妙な感覚が見る者の意識を刺激する。過去には、アメリカポートランドにあるナイキ本社の壁画制作やパリコレの舞台上でライブペイントを行い、国内を始め、海外ではメルボルンやパリなどでも数々の個展を開催している。



■ロボット(mBot)を使ったプログラミング教育

1 月にプログラミングの基礎を習って、今回高学年は、実際のロボットをプログラミングして、既定のコースを走らせることができるか行ってみました。正確な距離で前進や右左折ができるようにプログラミングするために、何度も試行錯誤しながら夢中で取り組んでいました。

